

# 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の 量の見込みの算出作業について（国の手引きより抜粋）

## 1. 趣旨

市町村子ども・子育て支援事業計画には、以下の事業の量の見込み、並びにそれに対応する提供体制の確保の内容・実施時期について定める必要があり、

|               |   |
|---------------|---|
| 教育・保育         | 幼稚園，保育所，認定こども園，小規模保育，家庭的保育，<br>居宅訪問型保育，事業所内保育   |
| 地域子ども・子育て支援事業 | 時間外保育事業，放課後児童健全育成事業，子育て支援短期事業，<br>地域子育て支援拠点事業，一時預かり事業，病児・病後児保育事業，<br>子育て援助活動支援事業，妊婦健康診査，乳児家庭全戸訪問<br>事業，養育支援訪問事業，利用者支援事業（新規） |

各事業における現在の利用状況及び今後の利用希望等をふまえて量の見込み  
を推計し，具体的な目標設定を行う。

## 2. 量の見込みの算出方法

量の見込みの算出方法については、以下に示す標準的な算出方法によることが望ましい。なお、地方版子ども・子育て会議等の議論等を踏まえたより効果的、効率的な方法による算出を妨げるものではない。ただしこの場合においても、「潜在ニーズを含めて量の見込みを把握し、それに対応する確保方策を定める」という制度の基本的考え方を踏まえる必要があることに留意する。

～算出の流れ～

### I. 家庭類型の分類

対象となる子どもの父母の有無や就労状況、また母親の就労希望を反映させた潜在的な家庭類型を作成し、「タイプA～タイプF」の8種類に分類

| タイプ   | 父母の有無と就労状況   |
|-------|--|
| タイプA  | ひとり親家庭   |
| タイプB  | フルタイム×フルタイム  |
| タイプC  | フルタイム×パートタイム<br>(就労時間：月120時間以上+下限時間～120時間の一部)      |
| タイプC' | フルタイム×パートタイム<br>(就労時間：月下限時間未満+下限時間～120時間の一部)       |
| タイプD  | 専業主婦(夫)  |
| タイプE  | パートタイム×パートタイム<br>(就労時間：双方が月120時間以上+下限時間～120時間の一部)  |
| タイプE' | パートタイム×パートタイム<br>(就労時間：いずれかが月下限時間未満+下限時間～120時間の一部) |
| タイプF  | 無業×無業  |

## Ⅱ. 量の見込みの算出

- 1 事業ごとに対象となる家庭類型及び年齢を抽出
- 2 「量の見込み」は、潜在家庭類型ごとに算出
- 3 「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)もしくは利用意向」  
＝「量の見込み(人もしくは人日)」

| 家庭類型  | 家庭類型に関連する事業の分類   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイプC' : フルタイム×パートタイム<br/>(月下限時間未満+月下限時間～120時間の一部)</li> <li>・タイプD : 専業主婦(夫)</li> <li>・タイプE' : パートタイム×パートタイム<br/>(いずれかが月下限時間未満+月下限時間～120時間の一部)</li> <li>・タイプF : 無業×無業</li> </ul>    | 1 教育標準時間認定<br>(認定こども園及び幼稚園)<br><専業主婦家庭, 就労時間短家庭>               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイプA : ひとり親家庭</li> <li>・タイプB : フルタイム×フルタイム</li> <li>・タイプC : フルタイム×パートタイム<br/>(月120時間以上+月下限時間～120時間の一部)</li> <li>・タイプE : パートタイム×パートタイム<br/>(双方が月120時間以上+月下限時間～120時間の一部)</li> </ul> | 2 保育認定②<br>(認定こども園及び保育所)<br>3 保育認定③<br>(認定こども園及び保育所<br>+地域型保育) |
| ↓<br>※ただし現在幼稚園利用  | → 2 保育認定①(幼稚園)<br>(共働き家庭幼稚園利用のみ)                               |

#### ④教育・保育の量の見込みの算出方法

※利用意向率の設問番号は、市が行った調査票における番号に置き換えている

| 区分                                 | 潜在家庭類型                         | 対象年齢        | 利用意向率  | 量の見込みの算出                                 | 留意点  |
|------------------------------------|--------------------------------|-------------|--|--|--|
| 1号認定<br>(認定こども園・幼稚園)               | タイプC'<br>タイプD<br>タイプE'<br>タイプF | 3歳<br>以上    | 問13(平日定期的に利用したい教育・保育の事業)に回答した者のうち、「1. 幼稚園」または「4. 認定こども園」を選択した者の割合  | 家庭類型別児童数(人)<br>× 利用意向率(割合)<br>= 量の見込み(人) | 見込み数計は、現在幼稚園又は認可保育所等を利用している3～5歳の子ども数と同数か上回ることが基本であると考えられるため、これと異なる結果となっている場合には、適切な補正が必要。 |
| 2号認定<br>(幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの) | タイプA<br>タイプB<br>タイプC<br>タイプE   | 3歳<br>以上    | 問12(平日定期的に利用している教育・保育事業)に回答した者のうち、「1. 幼稚園」を選択した者の割合  |  |  |
| 2号認定<br>(認定こども園及び保育所)              | タイプA<br>タイプB<br>タイプC<br>タイプE   | 3歳<br>以上    | 問13(平日定期的に利用したい教育・保育の事業)に回答した者のうち、「1. 幼稚園」から「9. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択した者の割合から、「2号認定(幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの)」の割合を除いた割合 |  |  |
| 3号認定(認定こども園及び保育所+地域型保育)            | タイプA<br>タイプB<br>タイプC<br>タイプE   | 0歳,<br>1～2歳 | 問13(平日定期的に利用したい教育・保育の事業)に回答した者のうち、「3. 認可保育所」から「9. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択した者の割合   |  |  |

#### 計算例) 1号認定(認定こども園・幼稚園)

##### ①3歳以上の家庭類型別児童数を求める

| 潜在家庭類型            | 割合    | 推計児童数(人) | 家庭類型別児童数 |
|-------------------|-------|----------|----------|
| タイプC' (フルタイム×パート) | 0.048 | 8,228    | 393      |
| タイプD (専業主婦(夫))    | 0.187 |          | 1,542    |
| タイプE' (パート×パート)   | 0.000 |          | 0        |
| タイプF (無業×無業)      | 0.003 |          | 24       |

##### ②利用意向率(問13・平日定期的に利用したい事業のうち「幼稚園」または「認定こども園」を選んだ割合)をかける

| 潜在家庭類型            | 家庭類型別児童数 | 利用意向率 | ニーズ量(人) |
|-------------------|----------|-------|---------|
| タイプC' (フルタイム×パート) | 393      | 1.000 | 393     |
| タイプD (専業主婦(夫))    | 1,542    | 1.000 | 1,542   |
| タイプE' (パート×パート)   | 0        | 0.000 | 0       |
| タイプF (無業×無業)      | 24       | 1.000 | 24      |
| 計                 |          |       | 1,959   |

## ⑤地域子ども・子育て支援事業量の見込みの算出方法

※利用意向率の設問番号は、市が行った調査票における番号に置き換えている

| 区分                  | 潜在<br>家庭類型                   | 対象<br>年齢 | 利用意向率  | 量の見込み<br>の算出  | 留意点   |
|---------------------|------------------------------|----------|--|---|---|
| 時間外保育<br>事業         | タイプA<br>タイプB<br>タイプC<br>タイプE | 0～5<br>歳 | 問13(平日定期的に利用したい教育・保育の事業)に回答したもののうち、「3. 認可保育所」から「9. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択している、かつ、問13-1で、「18時以降」と記入してある場合の割合を算出する。  |   | 時間外保育事業の時間設定について「18時以降」としたが、各自治体の実状に応じて変更可能とする。   |
| 放課後児童<br>健全育成事<br>業 | タイプA<br>タイプB<br>タイプC<br>タイプE | 5歳       | 問20(放課後の時間を過ごさせたい場所)で「6. 放課後児童クラブ」を選択した割合。   | 家庭類型別児童数(人)<br>× 利用意向率(割合)<br>= 量の見込み(人)                                    | ①5歳児を対象とした調査に基づく推計方法を示したが、就学児に対する調査を行っている場合には、その結果を利用することも考えられる。<br>②「6. 放課後児童クラブ」の利用希望を選択し、かつ、6. 以外の選択肢も選択している者について、「6. 放課後児童クラブ」の利用希望が週1～2回程度であれば、実情に応じ控除して算出することも可能。 |
| 子育て短期<br>支援事業       | 全ての家<br>庭類型                  | 0～5<br>歳 | (利用意向率)<br>問17-1(子どもを預けた時の対処方法)に回答した者のうち、「2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した」、「5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合。<br><br>(利用意向日数)<br>問17-1「2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した」、「5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答のあった者の「平均日数」。 | (利用意向率)<br>× (利用意向日数)<br>= 利用意向<br><br>家庭類型別児童数(人)<br>× 利用意向<br>= 量の見込み(人日) | 問17-1で「4. 仕方なく子どもを同行させた」や、「1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答した者のうち、問17-2で「1. 非常に困難」「2. どちらか」というと困難」と回答した割合を加えることも可能とする。   |

| 区分   | 潜在<br>家庭類型                     | 対象<br>年齢 | 利用意向率  | 量の見込み<br>の算出   | 留意点 |
|--|--------------------------------|----------|--|--|-----|
| 地域子育て<br>支援拠点事<br>業  | 全ての家<br>庭類型                    | 0～2<br>歳 | <p>(利用意向率)<br/>問 23(地域子育て支援センター<br/>などの利用状況)で「1. 地域子<br/>育て支援センターを利用して<br/>いる」と回答した者の人数と、<br/>問 24(地域子育て支援センター<br/>の利用意向)で、「1. これから<br/>利用したい」と回答した者の人<br/>数を、回答者全体の人数で割っ<br/>たもの。</p> <p>(利用意向回数)<br/>問 23(地域子育て支援センター<br/>などの利用状況)で「1. 地域子<br/>育て支援センターを利用して<br/>いる」と回答した者と、問 24(地<br/>域子育て支援センターの利用<br/>意向)で、「1. これから利用し<br/>たい」「2. 利用日数を増やした<br/>い」と回答した者の月当たり平<br/>均利用回数</p>  | <p>(利用意向率)<br/>× (利用意向回数)<br/>= 利用意向</p> <p>家庭類型別児童数(人)<br/>× 利用意向<br/>= 量の見込み(人)</p>  |     |
| 一時預かり<br>事業等<br>【幼稚園にお<br>ける在園児<br>を対象とし<br>た一時預か<br>り(預かり保<br>育)】<br><br>①1号認定に<br>よる利用 | タイプC'<br>タイプD<br>タイプE'<br>タイプF | 3～5<br>歳 | <p>(利用意向率)<br/>①「1号認定に該当すると考え<br/>られる子どもの不定期事業の<br/>利用希望割合」×<br/>②「不定期事業を利用している<br/>幼稚園利用者の一時預かり又<br/>は幼稚園の預かり保育の利用<br/>割合」</p> <p>①: 問 13(平日定期的に利用し<br/>たい教育・保育の事業)で、<br/>「1. 幼稚園」または「4. 認<br/>定こども園」を選択、かつ問<br/>19(不定期事業の利用意向)<br/>で、「1. 利用したい」と選択<br/>した者が、これらの問の回答<br/>者数に占める割合<br/>②: 問 12(平日定期的に利用し<br/>ている教育・保育の事業)で、<br/>「1. 幼稚園」を選択、かつ<br/>問 18(不定期事業の利用状<br/>況)で、「ア. 一時預かり」か<br/>ら「オ. その他」を選択した<br/>者のうち、「ア. 一時預かり」<br/>または「イ. 幼稚園の預かり<br/>保育」を選択した者の割合</p> <p>(利用意向日数)<br/>問 19(不定期事業の利用意<br/>向)で「1. 利用したい」に回<br/>答のあった者の「平均日数」</p> | <p>(利用意向率)<br/>× (利用意向日数)<br/>= 利用意向</p> <p>家庭類型別児童数(人)<br/>× 利用意向<br/>= 量の見込み(人日)</p> |     |

| 区分   | 潜在<br>家庭類型                   | 対象<br>年齢 | 利用意向率  | 量の見込み<br>の算出  | 留意点   |
|--|------------------------------|----------|--|---|---|
| 一時預かり<br>事業等<br>【幼稚園にお<br>ける在園児<br>を対象とし<br>た一時預か<br>り(預かり保<br>育)】<br><br>②2号認定に<br>よる利用 | タイプA<br>タイプB<br>タイプC<br>タイプE | 3~5<br>歳 | (利用意向率)=1.0<br><br>「2号認定のうち幼児期の学<br>校教育の利用希望が強いと<br>想定されるもの」は、「幼稚園<br>における在園児を対象とし<br>た一時預かり」を利用するこ<br>とによりニーズがカバー。<br><br>(利用意向日数)<br><br>2号認定のうち、幼児期の学<br>校教育の利用希望が強いと想<br>定されるものの問11-2で把握<br>する「就労日数」<br>※1週当たりα日×52週 | (利用意向率)<br>× (利用意向日数)<br>=利用意向<br><br>(家庭類型別児童数)<br>=「2号認定のうち<br>幼児期の学校教育の<br>利用希望が強いと想<br>定される者」の数<br><br>家庭類型別児童数(人)<br>× 利用意向<br>=量の見込み(人日)  | 問15(長期休暇中の幼<br>稚園の利用希望)の結<br>果を勘案することも考<br>えられる。<br><br>問19(不定期事業の利<br>用意向)で「1. 利用し<br>たい」に回答のあった<br>者の「ア 私用, リフレ<br>ッシュ目的」及び「イ<br>冠婚葬祭, 学校行事, 家<br>族の通院等」の平均日<br>数を勘案することも考<br>えられる。 |
| 一時預かり<br>事業等<br>【その他】<br>一般の一時預<br>かり  | 全ての家<br>庭類型                  | 0~5<br>歳 | (利用意向率)<br><br>問19(不定期事業の利用意<br>向)に回答した者のうち、「1.<br>利用したい」を選択した者の<br>割合<br><br>(利用意向日数)<br><br>問19(不定期事業の利用意<br>向)で、「1. 利用したい」に回<br>答のあったものの「平均日数」  | (利用意向率)<br>× (利用意向日数)<br>=利用意向<br><br>家庭類型別児童数(人)<br>× 利用意向<br>- 「幼稚園における<br>在園児を対象とし<br>た一時預かり(預<br>かり保育)(1号認<br>定による利用の<br>み)の利用意向日<br>数」<br>- 「問18(不定期事<br>業の利用状況)に<br>おける「オ. その<br>他」の利用日数」<br><br>=量の見込み(人日) |   |

| 区分              | 潜在<br>家庭類型                   | 対象<br>年齢 | 利用意向率   | 量の見込み<br>の算出   | 留意点  |
|-----------------|------------------------------|----------|---|--|--|
| 病児・病後児<br>保育事業  | タイプA<br>タイプB<br>タイプC<br>タイプE | 0～5<br>歳 | <p>(発生頻度)</p> <p>問 16-1(病気やけがで保育所や幼稚園の利用ができなかった場合の対処方法)で、「2～3. 父親(母親)が休んだ」に回答した者のうち、問 16-2(利用意向)で「1. できれば利用したい」と回答した者と、問 16-1で「5. 病児・病後児保育を利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の合計を問 16 の回答者全員で割る。</p> <p>(利用意向日数)</p> <p>問 16-2(利用意向)で「1. できれば利用したい」と回答があった日数の総計と、問 16-1で「5. 病児・病後児保育を利用した」「7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した日数の総計を足し合わせる。<br/>先に求めた「日数の総計」について、問 16-2で「1. できれば利用したい」、問 16-1で「5. 病児・病後児の保育を利用した」「7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに回答があった実人数の合計で割った数。</p> | <p>(発生頻度)</p> <p>× (利用意向日数)</p> <p>= 利用意向</p> <p>家庭類型別児童数(人)</p> <p>× 利用意向</p> <p>= 量の見込み(人日)</p>  | <p>就学児に対して調査を行っていない場合は就学前子どもに係る推計で足りるが、就学児に対して調査を行っている場合や事業の利用実績データがある場合には、市町村の判断で、当該調査の結果等を使用して就学児に係る量の見込みを算出することも可能とする。</p>  |
| 子育て援助<br>活動支援事業 | 全ての家庭類型                      | 5 歳      | <p>(利用意向率)</p> <p>問 20(放課後の時間を過ごさせたい場所)で「7. ファミリー・サポート・センター」を選択した割合。</p> <p>(利用意向日数)</p> <p>問 20で「7. ファミリー・サポート・センター」と回答のあったものの平均日数を算出する。</p>   | <p>(利用意向率)</p> <p>× (利用意向日数)</p> <p>= 利用意向</p> <p>家庭類型別児童数(人)</p> <p>× 利用意向</p> <p>= 量の見込み(人日)</p> | <p>就学児に対する調査を行っている場合には、各市町村の判断で、当該調査の結果を利用することも考えられる。<br/>なお、就学児に対する調査を行っていない場合には、地域における女性の就業割合や利用申込みの状況等の統計データも勘案した地方版子ども・子育て会議等の議論を踏まえ、適切な数値を量の見込みとすることも可能とする。</p> |